

音楽祭 ローズ・フェスタ開催



平成29年5月14日(日)神戸市立須磨離宮公園において、「神戸女子大学音楽祭 ローズ・フェスタBON VOYAGE～風に乗って～」を開催しました。

神戸女子大学と神戸市立須磨離宮公園はキャンパス・パーク連携を締結して11年目を迎えました。同公園のイベント「春のローズフェスティバル2017」の一つとして「ローズ・フェスタ」をバラが一番美しい時期に開催しています。

当日は初夏の陽気の中、多くの来場者をお迎えすることができました。

ステージでは、若さあふれる学生たちの熱演が繰り広げられ、ステージが終わるたびに観客からあたたかい拍手がおくられました。

パン研究会は、恒例となったパンの無料配布でオリジナルパン「ローズhipベリーパン」「桜あんと大地の芽ぐみ」を配り、今回も大変好評でした。

ワークショップでは、クイズに挑戦しながらバラ園を探検してもらった「ローズ・ワード・パズル～白うさぎを探せ～」で、神戸女子大学オリジナル「ローズカタログ」をプレゼントしました。キッズリーダー部、神戸女子大学学生消防団によるワークショップは、家族連れに人気を集め、子どもたちが楽しく遊んでいました。

ステージのプログラムの最後は、手話部 翼による手話コーラスで、「365日の紙飛行機」の曲にあわせ、来場者と学生が一緒になって365個の紙飛行機を飛ばし閉会となりました。

ローズ・フェスタの企画・運営は、神戸女子大学のローズ・フェスタ実行委員である地域連携推進委員会と「地域学習」履修学生によって行なわれました。また、須磨離宮公園の方々にも多大なご協力をいただきました。出演した学生と運営を支えた学生のいずれにも、学びの多い地域貢献活動となりました。

学生の熱演



参加の学生と教職員で記念撮影

防火・防災総合訓練

平成29年1月24日（火）神戸女子大学須磨キャンパスで、防火・防災管理委員会主催による防火・防災総合訓練を実施し、補講日の授業に登学していた学生・教職員約300名が参加しました。

この訓練は、須磨消防署、須磨消防団と所属する神戸女子大学学生消防団員の協力を得て、大規模地震が起こり、負傷者が発生し、ライフラインが遮断され、帰宅困難者の対応が必要であるとの想定で実施しました。学内で人的被害を最小限に抑えることを目指し、初動指示、非常放送、避難誘導から始まり、負傷者の救出・搬送・AEDによる救命措置を行ないました。そして、神戸女子大学の自衛消防隊も学生消防団と一緒に、消火器・放水訓練を行ないました。

学生消防団員は、訓練に参加している学生や教職員の前で日頃の訓練の成果を発揮して、AEDを使う救命措置や消火栓による放水をスムーズにこなし、自衛消防隊も班ごとの任務を確認し、学生の安全を第一に訓練に取り組みました。

また、今回は炊き出し訓練と非常食の配付も行ない、フイネットプラス V-net+（注）の部員が考案した2種類のお粥が、訓練の最後に配られました。

このたびの訓練は、「神戸女子大学危機管理マニュアル」に基づいて行ないました。学生、教職員は、今後発生する確率の高い東南海地震、南海地震をはじめ、大規模災害に向けて日頃の備えや実際に発生した場合に何をすべきかを冷静に判断できるよう、訓練を継続していくことが必要不可欠であることを再認識する良い機会となりました。



須磨消防署の協力を得て訓練を実施



消火栓を使って放水訓練



負傷者を搬送する自衛消防隊



AEDを使う救命措置の訓練



薪を使った釜での炊き出し



V-net+の部員が考案した中華風粥

（注）阪神・淡路大震災をきっかけに発足した栄養士・管理栄養士養成施設の学生のボランティア・ネットワーク「V-net」のうち、神戸女子大学の管理栄養士養成課程の学生で構成されたクラブ。学外・学内でさまざまな食育活動を行なっている



須磨消防署の前川和男課長による講評

手話部「翼」が「青少年を地域で讃える賞」を受賞

平成28年12月10日（土）神戸市須磨区の区役所において「第17回青少年を地域で讃える賞」の表彰式が行なわれ、神戸女子大学の手話部「翼」が社会活動を通じた地域への貢献により表彰されました。

この賞は、神戸市須磨区内の青少年で、社会、スポーツ、文化等の各分野で活躍する者を他の青少年の範として、また地域の誇りとして讃えることにより、本人のより一層の活躍とこれに続く青少年へ夢と希望を与え、地域ぐるみの青少年健全育成に寄与することを目的としています。

手話部「翼」は、昭和53年に創部された伝統のあるクラブです。手話を学び、自己の手話技能の向上を目指し練習を重ねるとともに、聴覚に障がいのある人びとと交流し理解を深めています。

学内外のイベントに参加し、手話コースの披露や小・中学生対象に手話教室を開催するなどのクラブ活動を行ない、須磨区を中心に手話への社会的認知を広げてきた活動が評価され、今回の受賞となりました。



表彰式会場にて表彰状を手にする学生



「エアポート・エコクラブ」が、

一般財団法人
学生サポートセンター「学生ボランティア団体支援」助成に採択・表彰される

平成29年1月30日（月）神戸女子短期大学「エアポート・エコクラブ」が、一般財団法人学生サポートセンターの助成事業である平成28年度「学生ボランティア団体支援」に全国55大学とともに採択・表彰されました。短期大学の団体としては当クラブが唯一選ばれました。

エアポート・エコクラブは、平成18年の神戸空港の開港イベントに協力するために有志の学生が同好会を作ったのがその始まりです。ポートアイランドキャンパスで学ぶ神戸女子大学の学生もクラブに入部し一緒に活動しています。平成21年に同好会がクラブに昇格し、神戸空港の周年記念行事や「空の日」などのイベントにボランティアとして参加し運営を支えてきました。

また、同クラブは、神戸市環境局のグリーン作戦、禁煙キャンペーンにも参加し、「KOBE三宮・ひと街創り協議会」が主催し、本年第9回を迎えた市内児童養護施設の子どもたちを沖縄旅行に招待する「KOBE夢・未来号・沖縄」にも、第1回から部員が付き添い役として同行し、子どもたちの楽しい思い出作りに貢献していることなど、多様な活動が評価されて今回の受賞となりました。



表彰式会場にて表彰状を手にする学生

